

美川地区

組織名称	美川まちづくり協議会 			
地区の概要 ※令和3年12月末 住民基本台帳	集落数	20	人 口	3,918人
	高齢化率	37.0%	人口増減率 (H17→R3の16年間)	▲9.3%
組織の状況	①役 員 会 長：美川振興会 副会長：校下区長会、地区社会福祉協議会、美川婦人会 事務局：公民館長 ②参画団体 美川振興会、地区区長会、公民館、公民館運審、地区社協 体協 民生児童委員、防犯協会、老人クラブ、ぴいすく美川 等計29団体 ③実行体制（部会制） 生涯学習、健康福祉、みかわ賑わい、安心安全 & 美川小コミュニティスクール（学校運営協議会）			
令和3年度の活動	R3 2月	検討会設立 モデル地区申請に向けて（検討会4回開催）		
	3月	「まちかど市民講座」まちづくり美川地区説明会		
	R3 5月	令和3年度モデル地区申請		
	R3 7月	美川地域・地区26団体への説明会開催		
	R3 9月	美川地区コミュニティ組織設立準備会立ち上げ *規約、組織構成、組織名称・愛称、役員、委員、スケジュール の確認、目指す姿、参画団体活動実態調査 （設立準備会6回開催）		
	R3 12月	「みかわまちづくりカフェ」開催 金沢大 篠田准教授		
	R4 2月	「美川まちづくり協議会」愛称公募		
	R4 3月	「みかわまちづくりカフェ」まとめとワークショップ 金沢大 篠田准教授		
	R4 3月	「美川まちづくり協議会」  設立総会（3月20日）		
令和4年度の活動	R4 4月	「美川まちづくり協議会」  パンフレット発行		
	R4 6月	4年度事業についてのワークショップ（防災、耐寒継走、空き家）金沢大篠田准教授		
	R4 9月	防災訓練「防災グッズ&非常食ビッフエ（食の体験）」と美川地区防災士紹介（9月4日予定）		
	R4 12月	第2回「みかわまちづくりカフェ」開催予定		
	R5 1月	美川一周耐寒継走大会（1月15日開催予定） 周年 地域課題「空き家」について学習会、ワークショップ 周年 社会教育・生涯学習活動		
組織運営・活動の 成 果	・美川まちづくり協議会「目指す姿」が共有でき、笑顔で永く住み続けられるまちづくりへ地域課題の解決に向けて意識が高まりつつある ・地区住民や参画団体同士のつながりが強くなり、持続的な活動や会の運営に支え合う体制づくりが出来た ・「みかわまちづくりカフェ」の開催で多様な人たちから美川の未来についての声を聴くことが出来、続けての開催の要望が出ている ・美川小コミュニティスクールと連携することで「地域の子供は地域で育てる」という意識の高まりを感じる			
組織運営・活動の 課 題	・事業の実施に向けて自主的な部会開催の在り方 ・公民館事業、まちづくり事業、各種団体事業と連携することで、事業の集約や質的な向上に繋げていくことが必要 ・更なる広報や多様な世代が事業に参加することで「目指す姿」に迫る工夫 ・企業、大学との連携の在り方			

美川まちづくり協議会



美川の未来を創る

「まちづくり協議会」の挑戦！





美川まちづくり協議会 会長 森田 雄三

美川まちづくり協議会「おかえり」の発足にあたり、関係各位の皆様には多大なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

白山市では、新しいコミュニティ組織の立ち上げと共に、市民と行政が協働で地域づくりに取り組む「市民協働で創るまちづくり」を推進しております。

美川地区においても、昨年よりコミュニティ組織設立準備会を立ち上げて準備を進めてまいりましたが、今年3月20日に「美川まちづくり協議会」設立

総会を開催し新たな組織のスタートとなりました。

「美川まちづくり協議会」では、誰もが安心して暮らしていける元気な美川を目指し、いつまでも住み続けたいと思う美川であるために、みんなで支え合う地域づくりに取り組んでまいりたいと思います。

その為には地域の皆さんや町内会、各種団体、学校などそれぞれが連携し、地域における様々な課題に対して、解決に向けて地域のあらゆる資源の活用について話し合い、この美川地区の特徴に合わせた活動、実行する組織として、皆さんと一緒に地域づくりを進めてまいりたいと思います。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

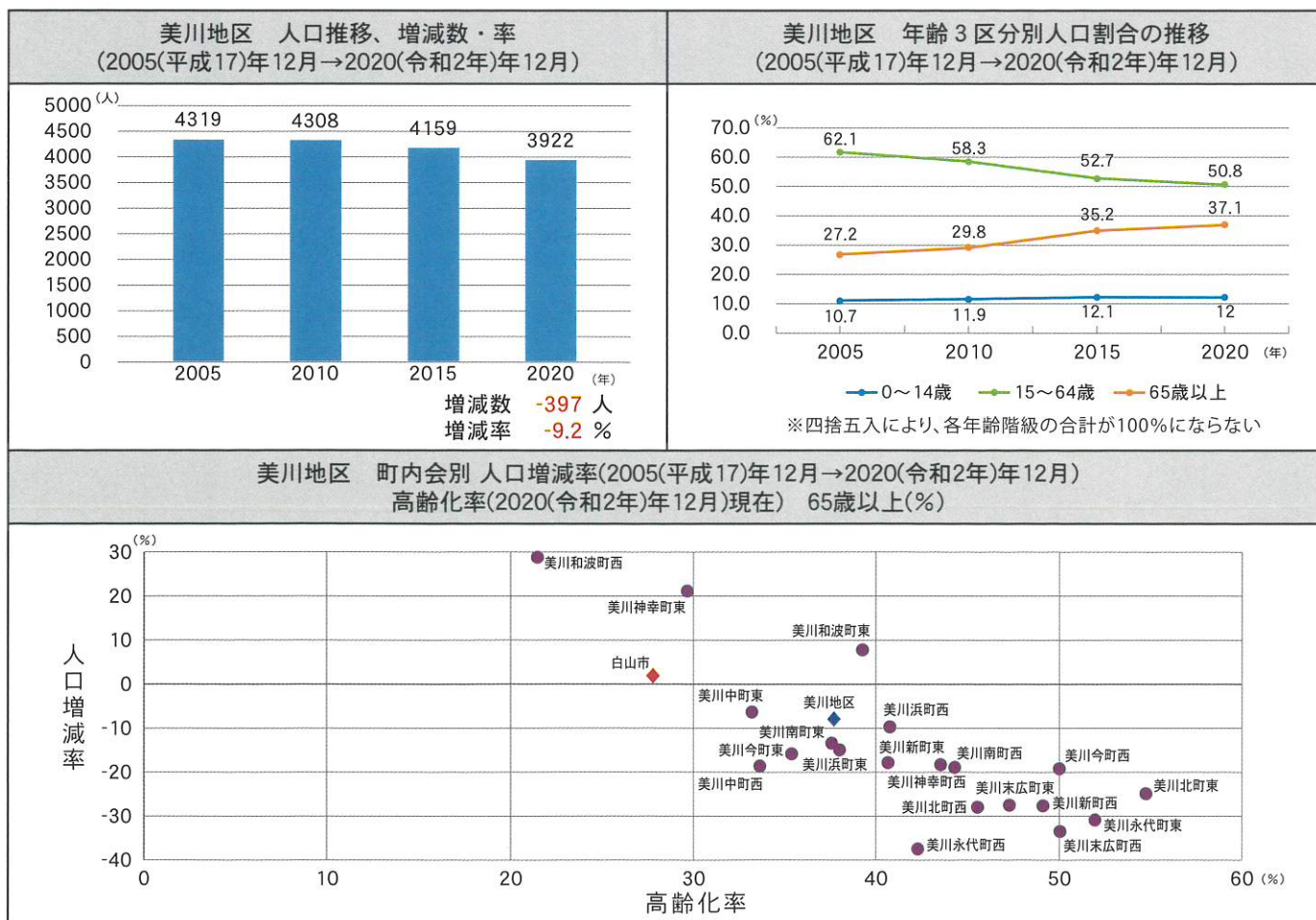
背景

近年、白山市では少子高齢化や人口減少、核家族化、住民の連帯意識の希薄化などによりさまざまな地域課題が顕在化し始めています。美川地区でも同様の状況であり、従来から活動してきた町内会組織や各種団体は、人口減少、少子高齢化も相まって、担い手不足が深刻で地域活動が困難な状況が生まれています。これからの地域活動の継続が懸念されます。

美川地区における課題や問題は、住民の日常生活に深くかかわるものです。地域の多様化する課題に対応していくため、地域が個性や特色を活かし、新しい時代に対応した持続的な地域づくりを行う仕組みを作り上げていく必要があります。

将来に渡っても、笑顔で住み続けたい美川であるため、時代に即した新しいコミュニティ組織づくりを推進したいと考えます。

■ 美川地区のデータ



歴史を紡ぎ、学びを育み、笑顔で永く住み続けられるまち

美川地区は、手取川が日本海に流れ込む河口に位置し、古くは北前船で栄えた伝統文化が長く引き継がれています。このような伝統・文化・祭り・自然・風習を大切に、これからの「美川」のことを私たち一人一人が考え、さらに笑顔があふれる住みよいまちづくりを目指します。

■ 4つの柱と一つの繋がり

■ 実現に向けての役割

学びを育むまち

★学びを育む

少子・高齢化の進行や情報化の急激な進展、家庭教育の多様化など私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。人生100年時代を迎える中において、豊かな人生を送るためにも社会教育、生涯学習の役割は重要になってきます。

また、青少年をはじめとする各年齢層に応じた社会参加や世代間の交流などふるさとづくりを目指します。

誰もが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる「美川」を実現します。

暮らしを支えるまち

★暮らしを支える

核家族化の進展や女性の社会進出が増え、子育て環境も変化しています。子どもを安心して育てることができるよう地域での子育て環境の充実を図る必要があります。

また、美川地区の65歳以上の高齢化率は2020年末現在で37%です。これは白山市の27%よりも高く高齢化は進んでいます。独り暮らしや高齢者だけの世帯も増えている現状です。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために共に支え合う「美川」を推進していくことが重要です。

賑わいを生み出すまち

★賑わいを生み出す

「美川」は日本海と手取川が交わる河口に位置し、古くから人と自然が織りなす豊かな環境、北前船で栄えた伝統文化が存在しています。この地の特色を活かし、他にはない魅力あるまちづくりを目指した活動を継続的に取り組んでいきます。

江戸中期の頃から続く「美川おかえり祭り」(県無形民俗文化財)や、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に追加認定(令和2年6月)された「美川・湊地区」など、地域の大切な歴史を守り繋ぎ、賑わいを創り出していくことも重要です。

また、白山手取川ジオパーク(2011年9月5日日本ジオパーク認定)に位置付けられた伏流水群や海岸線、松林を守る活動も大切と考えています。

命と生活を守るまち

★命と生活を守る

美川地域は豊かな自然に恵まれている一方で、手取川の氾濫、津波、地震や白山の噴火など様々な災害リスクが想定されます。大雨、台風、地震などによる災害は全国各地で発生しており、万が一の災害に備える必要があります。地域で起こりうる災害を想定した訓練などは、地域コミュニティが大きな役割を担うと思います。

高齢化や社会の変化が進む中、近所付き合いや町内会の活動など近くの関係が希薄化しています。誰もが安全で安心して暮らせるまちを実現するためには、みんなで支え合う連帯感が必要になります。

地域の学校と協働するまち

★地域の学校との協働 美川小学校コミュニティスクール

美川小学校と地域がビジョンを共有し、コミュニティスクールが地域学校協働活動を担います。地域学校協働活動とは、地域の方々が、それぞれが持つ能力を生かし、講師やボランティアとして、学校が求める授業、行事等に参画することをいいます。



多様化・複雑化してく課題について対応し、「美川」がさらに発展していくことを目指します。

事業計画

令和4年度試行の事業

地域づくり

(1) 防災についての学習 防災訓練〈命と生活を守る〉

- ・地域で起こりうる地震、津波、台風、火災、大雨や手取川の氾濫等を想定し、万が一に備える。



(2) 美川一周耐寒継走大会〈学びを育む〉〈賑わいを生み出す〉

- ・美川に根付いた歴史ある大会をコミュニティのネットワークを活かし連携することで10年後、20年後も事業を継続、発展させたい。
- ・継続が難しい既存の事業をコミュニティ組織が連携、補完し元気に地域づくりを行う。



(3) 「空き家」に関する地域課題をコミュニティ組織において継続して事業化に向け取り組む



生涯学習

◇ 生涯学習事業

文化祭 運動会 フェア 講演会 敬老会 左義長 各種講座
体育的活動 サークル活動 体験学習



◇ ステップアップ研修 まちづくりに関する研修会

◇ 「みかわ まちづくり カフェ」の開催 未来の美川を考える

◇ 広報活動 パンフレットの作成やHPの運用



◇ 美川小コミュニティスクールと連携 学校運営協議会に参画

- ・講師やボランティアとして授業や行事に参画
- ・地域とともにある学校づくりを進める



美川まちづくり協議会



安心安全部
命と生活を守る

安心で安全に暮らせる生活環境づくり
防災体制の整備 独居高齢者の安全
子どもの見守り推進

- 美川校下区長会
- 北消防団美川分団
- 防犯協会美川支部
- 交通安全協会美川支部
- 美川っ子見守り隊

健康福祉部
暮らしを支える

子どもからお年寄りまで楽しく
暮らせる生活環境づくりの推進
高齢者の集える場所づくり

- 美川地区社会福祉協議会
- 美川老人クラブ鶴亀会
- 民生・児童委員協議会
- 美川地区保護司会
- 美川地区更生保護女性会
- 美川児童館
- 健康づくり推進員協議会
- 食生活改善推進協議会

生涯学習部
学びを育む

生涯学習の推進
スポーツの生活化
地域と学校の連携・協働

- 美川文化協会 ○ 美川体協 ○ 美川婦人会
- 美川小学校 ○ 美川小学校育友会
- 美川公民館 ○ 美川公民館運営審議会
- 美川子ども会連合会
- NPO法人びいすく美川
- 美川自然クラブ
- ・ 美川校下区長会 ・ 美川老人クラブ鶴亀会
- ・ 美川校下青年団
- ・ 美川地区更生保護女性会
- ・ 美川おかえり祭りを守る会
- ・ 美川児童館
- ・ 食生活改善推進協議会

地域学校協働活動

地域のサポーターが
講師やボランティアとして
授業や行事等に参画

コミュニティスクール
美川小学校

学校運営協議会
コーディネーター
地域の各種団体

みかわ賑わい部
賑わいを生み出す

伝統文化の継承
日本遺産「北前船」に係る地域振興
おかえり祭りの継承
海岸の環境づくり

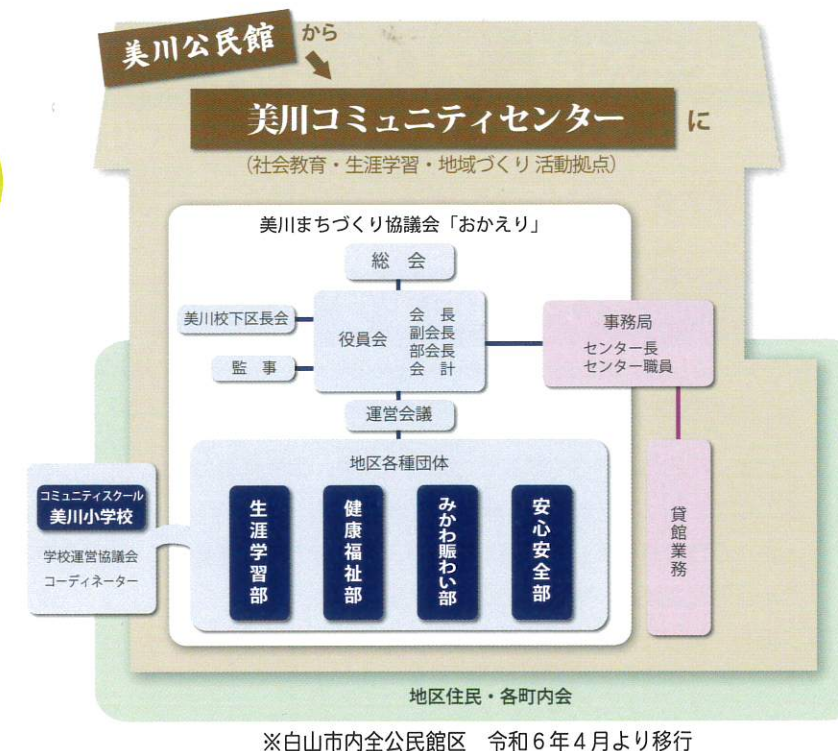
- 美川振興会
- 美川校下青年団
- 美川おかえりの会
- 美川おかえり祭りを守る会
- 美川商工会
- ・ 美川校下区長会
- ・ NPO法人びいすく美川
- ・ 美川自然クラブ

地区住民
約3,900人

各種団体
28団体*

* ○印の団体は各部会の主たる構成団体
令和4年3月現在

生涯学習活動の拠点
に加えて、
地域づくり活動の拠点へ



※白山市内全公民館区 令和6年4月より移行

地域の学びをSDGsで時代に合わせる



SDGsは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」のことです。誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指すために、世界共通の目標に向かって取り組みを進めます。

「美川まちづくり協議会」もよりよい社会の実現に向けてSDGsに取り組んでいきます。

美川まちづくり協議会 参画団体

- ・ 美川振興会 ・ 美川校下区長会 ・ 白山市美川地区社会福祉協議会 ・ 美川地区老人クラブ鶴亀会 ・ 美川文化協会
- ・ 白山市スポーツ協会美川支部美川体協 ・ 白山市女性協議会美川婦人会 ・ 美川校下青年団 ・ 美川小学校 ・ 美川小学校育友会
- ・ 美川公民館 ・ 美川公民館運営審議会 ・ 美川地区民生委員児童委員協議会 ・ 白山野々市保護区保護司会美川地区
- ・ 白山市美川地区更生保護女性会 ・ 白山市北消防団美川分団 ・ 白山市防犯協会美川支部 ・ 白山市交通安全協会美川支部
- ・ 美川っ子見守り隊 ・ 白山市観光ボランティアガイド美川おかえりの会 ・ 美川おかえり祭りを守る会 ・ 美川児童館
- ・ 美川子ども会連合会 ・ NPO法人びいすく美川 ・ 美川自然クラブ ・ 美川商工会 ・ 美川地区食生活改善推進協議会
- ・ 白山市健康づくり推進員連絡協議会

美川まちづくり協議会 役員

会長	森田 雄三〔美川振興会〕
副会長	長：平加 進也〔美川校下区長会〕
副会長	長：松本 謙一〔白山市美川地区社会福祉協議会〕
副会長	長：浜上美知子〔白山市女性協議会美川婦人会〕
会計	川原三栄子〔美川地区食生活改善推進協議会〕
監事	事：斉藤 貞明〔美川地区老人クラブ鶴亀会〕
監事	事：武部 祥英〔美川地区民生委員児童委員協議会〕
生涯学習部長	吉田 隆之〔美川公民館運営審議会〕
健康福祉部長	中村 依子〔白山野々市保護区保護司会美川地区〕
みかわ賑わい部長	北田 吉弘〔美川商工会〕
安心安全部長	竹内 明〔美川校下区長会〕
事務局長	二口 伸也〔美川公民館〕
顧問	問：北嶋 章光〔白山市議会議員〕
相談役	西田 剛志〔白山市美川支所総務課長〕

美川まちづくり協議会



美川公民館 HP

発行 / 美川まちづくり協議会「おかえり」
事務局 / 美川公民館 TEL 076-278-2400